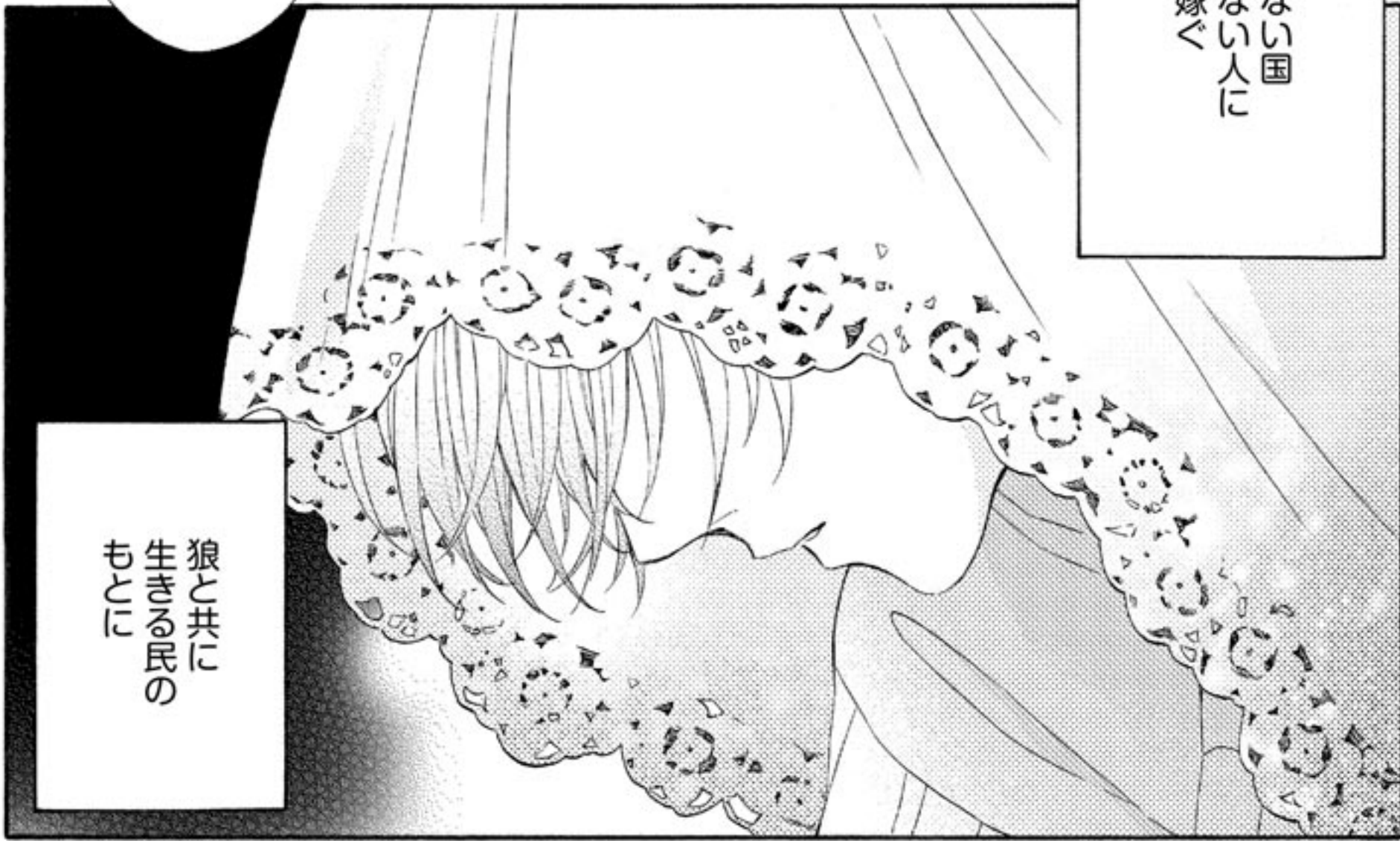




顔をあげよ

ルーイ・フィツダ

知らない国
知らない人に
僕は嫁ぐ

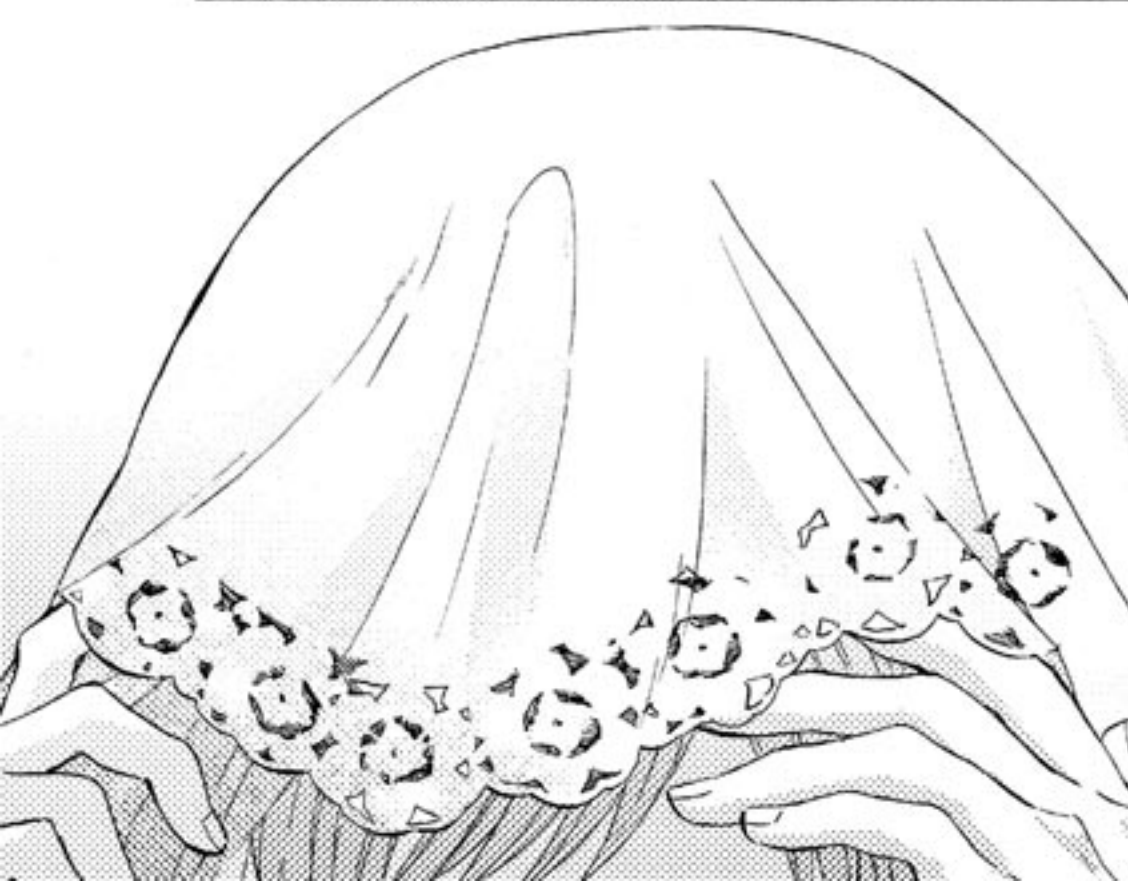


狼と共に
生きる民の
もとに

新連載開始!! 第1話

狼の花嫁

りゅま加奈
KANA RYUMA



サライ



この人が僕の
夫になる人……





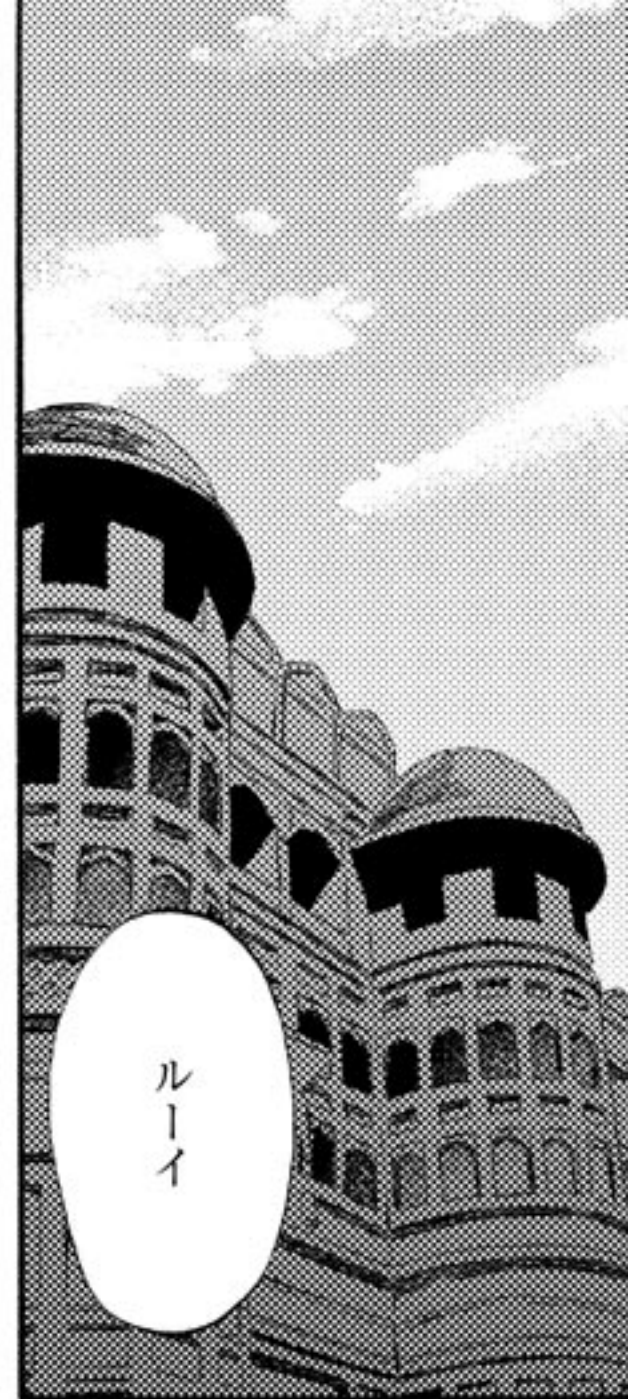
お前の嫁ぎ先が
決まった

お前には女として
隣国へ嫁いでもらう



女として?!

父上
僕は…

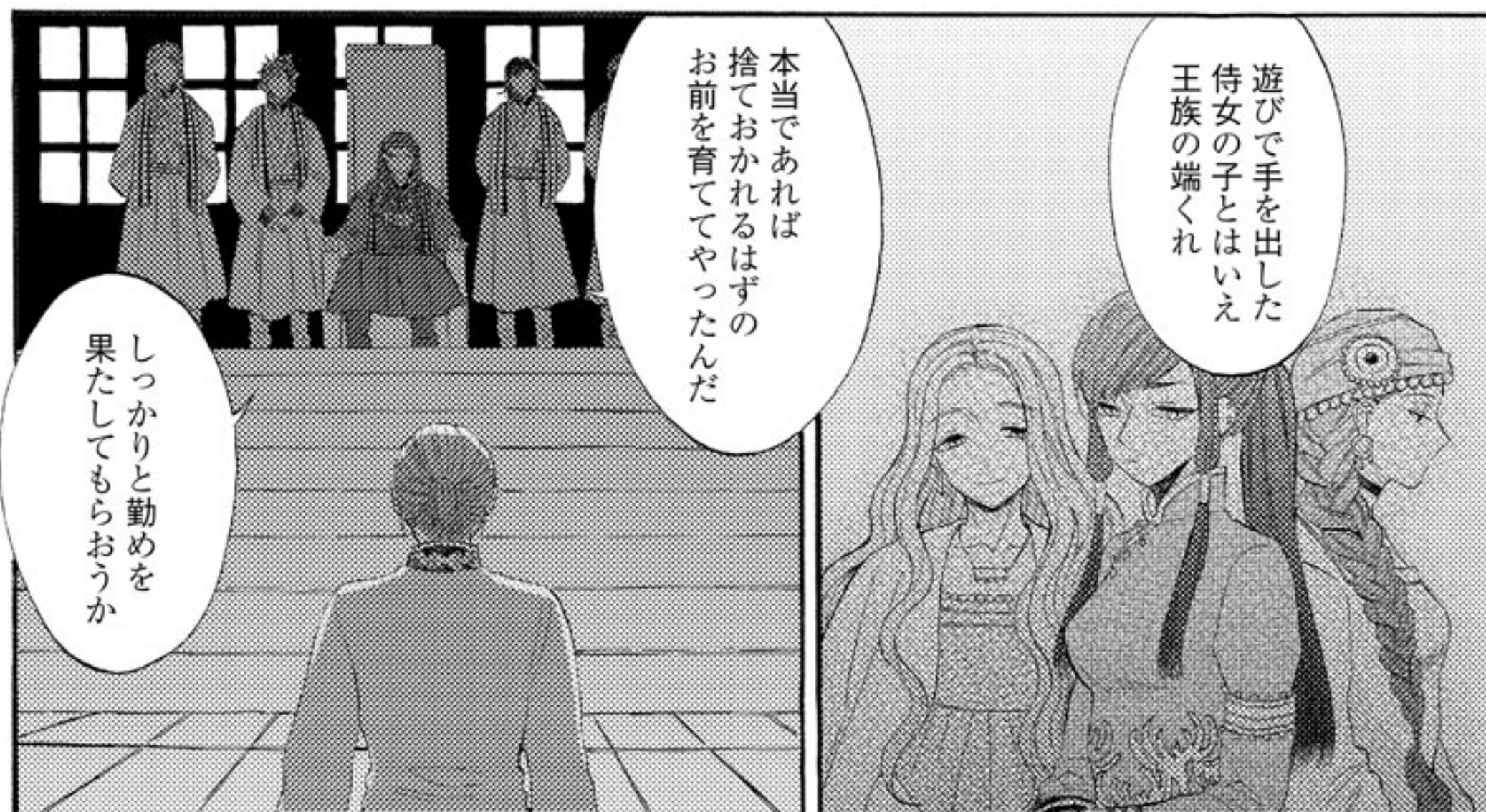


ルーイ



嫌とは
言わせんぞ

ようやくお前が
役に立つ時が
来たのだ



遊びで手を出した
侍女の子とはいえ
王族の端くれ

本当であれば
捨ておかれるはずの
お前を育ててやったんだ

しっかりと勤めを
果たしてもらおうか



母に何を
する気です!?



お前もあの女も
私にはどうとでも
出来るのだぞ



…っ



今まで我々は隣国と
長い戦をしてきたが
平和協定を結ぶ
ことにした

あいつらは狼などと
一緒に生活しておる
野蛮な民族だ



本当であれば
関わりなど持ち
たくはないが

あの国を通らねば
豊富な資源が手に入らん
やっかいなものよ



なあに
何もせんよ
お前がうまく
やっている間はな

幾分
こちらの方が
分が悪くてな

我が血族から娘を
一人差し出すことになっ
た
全く忌々しい

お前であれば
「女」として嫁がせる
ことが出来る

だがわざわざ
良い血統を与えて
やることもない

「王族」でさえ
あればいい

そこでお前が
必要なのだ

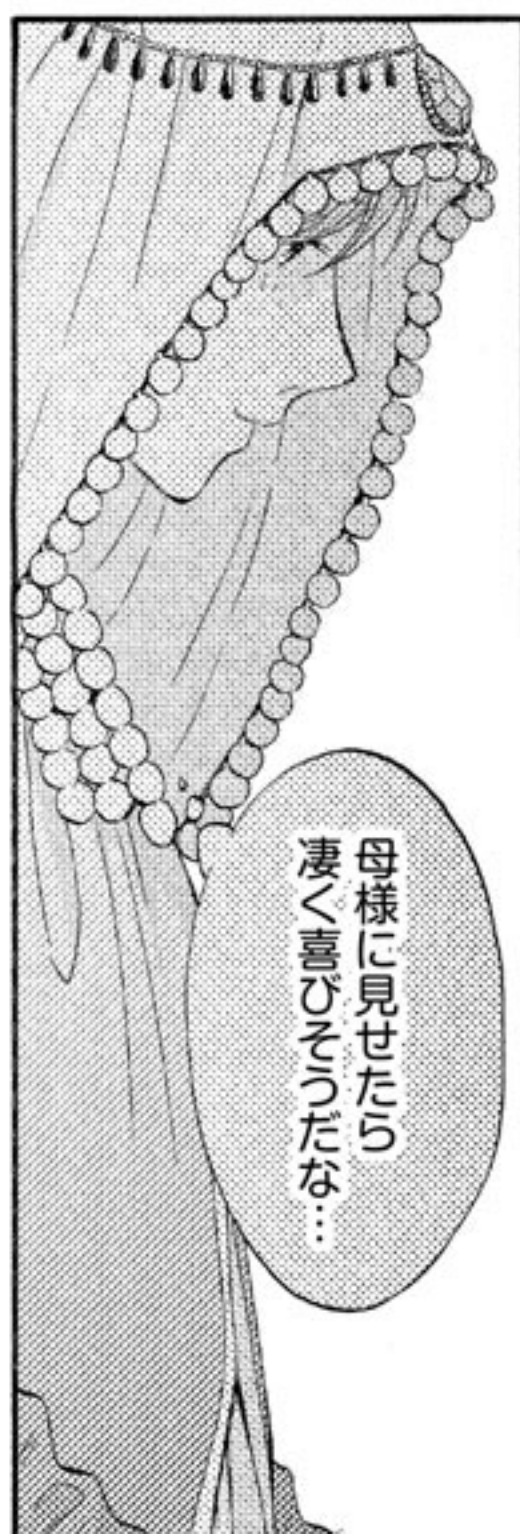
そうであろう？
ルーイ

幼い頃から父王には逆らえなかった

卑しい生まれの王子
出来損ないの王子

どう言われてもよかった 母様を守れるなら——…







協定を強調する為
お互いの婚礼服で行う
とは聞いていたが

お前のところは
派手だな
やはり大国と
言うべきか…

あ…

もしかしてこの人に
嫌われている…？

国同士の政略結婚で
好かれているとは
思っていなかったけれど

似合っていない
ですよ

普段こんな服は
着ないので…

彼の纏う雰囲気
が僕を拒絶している
のを感じる

傷つくことには
慣れている
はずなのに

服ばかり派手で…
恥ずかしいです

今更…